



広報誌で紹介した写真を
希望者に提供します。

●お申し込み●
秘書課広報広聴係 ☎ 3-3069 へ



「政宗公まつり」に舞う ヨサコイと当別音頭

本町の姉妹都市である宮城県岩出山町の大イベント「政宗公まつり」が9月13日～14日に開かれました。政宗公まつりは仙台青葉城に設置されていた「政宗公平和像」が岩出山町に移設されたことを契機に始まり、本年が40回目を迎える由緒あるお祭りです。

期間中に約7万人を集めたお祭りに、本町から「当別音頭を守る会」「当別YOSAKOI踊り隊・太美元風会」の皆さん約60名が参加し、祭りを盛り上げました。

また40年の節目の年でもあり、岩出山町から正式招待を受けた泉亭町長と竹田議長は、祭りのメイン行事である「伊達武者行列」に甲冑かっちゆうに身を包んだ騎馬武者として参加し、姉妹都市交流に花を添えていました。



岩倉さんおめでとう！ 新体操全国大会総合2位

8月25日に小樽総合体育館で行われた、「全国中学校体操競技・新体操選手権大会」に3年連続で出場した西当別中学校3年の岩倉歩さんは、個人総合2位の素晴らしい成績を収めました。

北海道勢の個人メダル獲得は18年ぶりの快挙で、5歳から新体操を始め、練習には江別市まで毎日通う地道な努力と、積極的に参加した合宿の成果が今回の成績に結びつきました。

高橋教育長に成績報告に訪れた岩倉さんは「地元北海道の会場でみんなに応援してもらったので気持ちを高めて演技ができました。これからもできる限りがんばりたい」と今後の大会に向けた意気込みを話しました。高橋教育長は「りっばな成績。これからも自分に負けずにがんばってください」と激励しました。(9月4日)



人形芝居に笑いと涙

町民にいろんな文化を親んでもらおうと活動している、ふるさとシンフォニー当別（高橋千枝子会長）が、人形芝居「おひとり座」の西川禎一さんを招いての公演。

西川さんは京都に在住、人形を納めたトランクとギターで、昔話などの人形劇をしながら全国を巡演し、ステージはトランクを開き演台を設営するところから始まります。



今回は、大人向けの人形芝居として、おばあさんの人形を使い、ご自身の母親の生涯を落語調の語り口で演じ、会場内はうなずいたり笑ったりと西川さんの話術に引き込まれました。（8月30日）

おもしろ競技にハッスル！

町内各地区から高齢者や体の不自由な方がスポーツを通じて交流を深めようと、毎年開催している「当別町ふれあいスポーツ大会」が町総合体育館で開かれました。

開会式に先立ち中野實実行委員長は「楽しく無理なく体を動かしてください」と挨拶。

約700名の参加者は地区ごとに6チームに分かれて『風船はさみ』や『イスとり点とり競争』など10種目を競いました。

各チームは大きな声援が送られる中、選手はどの競技にも真剣で、勝敗の行方に一喜一憂の歓声が体育館に響きました。

今年度の優勝は紫チーム（弥生・旭町・万代町・白樺町・春日町・元町・緑町・東町）でした。

（9月2日）



ファミリー農園で収穫祭



5月末に植え付けをし、6月末の「いちごまつり」の時に土寄せを行い、会員の皆さんが心を込めて育てたジャガイモが収穫を迎えました。

今年は冷夏で米の生育などは心配されていますが、農園のジャガイモは青山特有の寒暖の差がある気候ですくすく育ち、昨年と比べても一つひとつが大きく、収穫量も2倍近くありました。また、ジャガイモ1個の重さを競うコンテストでも昨年を上回る650gのジャガイモが栄冠に輝きました。（9月7日）

霊前に恒久平和を誓う

「ゆとろ」で開かれた当別町戦没者追悼式。泉亭町長は、「再び悲しみの歴史を繰り返さない決意を新たに、生きがいを持って暮らせる地域社会を目指して努力してまいります」と式辞を述べました。

参加者は戦場で亡くなられた当別町出身305名の冥福を祈り、祭壇に白菊を献花しました。（9月11日）



航空自衛隊が防災訓練

白樺公園で行われた、当別分屯基地防災訓練。プールの水などを飲料用に変える造水機や瞬時に完成するエアートント

など、災害時に役立つ資材展示のほか、大勢の食事を調理できる野戦釜でのカレーライスが見学者に振舞われました。（9月3日）

